

## 【自己添削のポイント】

日々のオンザジョブトレーニングの中に自己添削を通したトレーニングがあります<sup>注1)</sup>。今回は、この自己添削に関する解説です。

注1)：「マンガで学ぼう・ダウンロードコーナー」の中の「日々のオンザジョブトレーニングとは」の資料を参照のこと

### 1. 自己添削とは

自己添削とは、技術文書を書いたら「その内容が明確に伝わるかどうか」を自分で添削することです。また、読み手の立場に立って自己添削を行います。この自己添削をするうえでのポイントが2つあります。

### 2. 「わかりにくい書き方」がわかることが第1のポイント

「わかりにくい書き方(=内容が明確に伝わらない書き方)」がわかることが自己添削をするうえでの第1のポイントです。わかりにくい書き方がわからないとこれを見逃す可能性があるからです。例えば、「製品Aと製品Bの販売個数は、約10,000個/月である」と書いてあっても「この文は問題ない」と判断したら自己添削が成立しません。この文は内容が明確に伝わらないからです。

日々のオンザジョブトレーニングでわかりにくい書き方がわかります。「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則」と「6つのルールと18の書き方」が習得できるからです。日々のオンザジョブトレーニングでこれらを習得することで、「どのような書き方がわかりにくいのか」が判断できる基準ができます<sup>注2)</sup>。

注2)：「マンガで学ぼう・ダウンロードコーナー」の中の「日々のオンザジョブトレーニングでわかること」の資料を参照のこと

### 3. 「わかりにくい書き方」の修正方法がわかることが第2のポイント

「わかりにくい書き方」の修正方法がわかることが自己添削をするうえでの第2のポイントです。例えば、文の羅列で書いてある箇所があったときこの修正方法がわかっているならば「かたまりに分けて書こう」、「箇条書きで書こう」あるいは「表で書こう」などのような方法を使ってこの箇所が修正できます。

日々のオンザジョブトレーニングで「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則」と「6つのルールと18の書き方」を習得すればわかりにくい書き方の修正方法がわかります<sup>注2)</sup>。

#### 4. 自己添削で時間の無駄遣いなくなる

内容が明確に伝わらない技術文書（わかりにくい技術文書）を書くことで「無駄な時間を使うこと（時間の無駄遣い）」が起きます<sup>注3)</sup>。時間の無駄遣いをしないためにも自己添削が必要です。

注3)：「マンガで学ぼう・ダウンロードコーナー」の中の「“内容が明確に伝わらない技術文書”を書くことで起こる重大なこと」の資料を参照のこと

#### 5. 人の振り見て我が振り直せ

「人の振り見て我が振り直せ」ということわざがあります。「他人の行動を見て、良いところは見習い悪いところは改めよ」のような意味です。自己添削とは、「人の振り見て我が振り直せ」のようなことです。わかりにくい書き方を見てそれを改めることで内容が明確に伝わる技術文書を書くことができるからです。

以 上